



がんばっています!

こどもエコクラブ



～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～

生ゴクラブ (鈴鹿市)

会員数5名 サポーター数1名

小学2年生から5年生で構成されています。

【地域や近所のお友達】で作ったクラブです。



代表サポーターの
大内義行さんにインタビュー
しました。

「生ゴクラブ」は、いつどのようにできたのですか？

2006年8月31日にできました。2年前から、生ゴミを消滅させる酵素（この酵素を含んだ土のようなものを「生ゴン」と呼んでいます）を使って、生ゴミを出さない取り組みをしていました。その結果、1人当たり1日に出すゴミの量を三重県の3分の1に減らすことに成功しました。その様子を夏休みの自由研究で発表したところ、興味を示す子が何人が現れ、もっとそのことを広めたいと思って生ゴクラブをつくりました。

どのような活動をしていますか？

今深刻化している地球温暖化の原因物質、CO₂を減らすにはどうしたらいいか考え、毎日家庭から出る生ゴミをゼロにする作戦を展開しています。子供でも簡単に毎日できる方法を現在実験中です。生ゴミを生ゴンと混ぜて、土のう袋に入れておくだけで1ヶ月たてば生ゴミは完全に無くなり、生ゴンだけが残ります。（堆肥が作られるのではなく、生ゴミは分解されて無くなりますので、容量は増えません。）残った生ゴンには再び生ごみを混ぜて、繰り返し使うことができます。このように生ゴンは、無電力完全循環型なのです。メンバーで毎週寄って、生ゴンの観察や家でのエコ活動などについて話し合ったりしています。

どうやって会員を集めていますか？

友達に声をかけて、興味のある子を誘っています。現在まだ5人だけですが、もっといろんな人に知ってもらって一緒に生ゴミゼロ作戦に取り組んでいきたいと思っています。

どうやって活動費を作っていますか？

現在は、サポーターのボランティアで行っています。

どのようなことを子ども達に伝えたいですか？

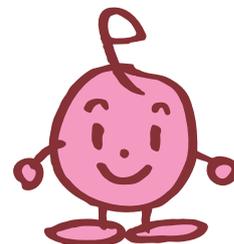
もともと地球にはゴミなどはないはずで、人間にとって要らないものをゴミと名付けただけ。人間にとっては不要の生ゴミもそれを吸収して生きている目に見えない生き物が何億何兆、私たちの身のまわりにいます。山に行くと枯れた葉っぱや動物の死がい生ゴンの働きで瞬く間に土に還り、やがて草木や生き物の体に戻ってくるのです。子どもたちとともに生ゴンを優しく育てて地球を救っていきたいです。



こどもエコクラブとは

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。

仲間が集まればどんなグループでもこどもエコクラブとして登録して活動を始めることができます。（入会費・登録費は無料です）



こどもエコクラブイメージキャラクター
エコまる

詳細は環境学習情報センター - ホ - ムページ <http://www.eco.pref.mie.jp/forum/center/center1.htm>